

平成 30 年 5 月 15 日

(公財) 日本骨髄バンク
非血縁者間骨髄採取認定施設
採 取 責 任 医 師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

ヘパリン過剰投与した事例について

このたび、ヘパリンを過剰投与した事例が報告されました。移植施設・採取施設からの報告によれば以下のような概要です。

<経過>

骨髄採取量 : 1000ml (骨髄液総量 1270ml)

ヘパリン濃度 : 20 単位/ml

事 象 : 輸注後、骨髄液中のヘパリンに伴う、一過性の出血傾向、APTT 延長(170 秒以上)を認めた。

※過去の同一事例 骨髄移植後に患者さんが APTT 過延長となり出血を来した事例について (ご報告)

http://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2017_03_15.pdf

<対応・対策>

本委員会としては、当該事実を各採取施設に対し情報提供し、改めて注意喚起を促すこととしました。

また、輸注の際には予め骨髄液中のヘパリン量を確認して、出血症状等に留意して適切に対応してください。

■再確認のお願い

<骨髄採取マニュアル (第四版) の記載 (P.5 (3) 抜粋) >

(3) 抗凝固剤

ヘパリンを使用する。

最終ヘパリン濃度は、通常 10 単位/ml 前後で用いることを推奨する。

各施設におかれましては、抗凝固剤 (ヘパリン) の適正使用について骨髄採取マニュアルの再確認をお願いいたします。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

公益財団法人 日本骨髄バンク

ドナー安全委員会

担当 折原

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-19

廣瀬第2ビル 7 階

TEL : 03-5280-2200

FAX : 03-5283-5629